

令和3年 甲州市議会 12月定例会

## 市政の概要

令和3年12月定例会の開会にあたり、議員各位には、提案いたしました議案のご審議をいただくことに対しまして、心から敬意と感謝を表すものであります。

提出案件の説明に先立ち、私の所信の一端と市政の概要を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

本市は、11月1日に市制施行16周年を迎えました。感染症対策を講じ規模を縮小した中で式典を開催し、市勢伸展に多大なご尽力を賜った方々に、表彰状並びに感謝状をお受けいただいたところであります。

また、先月20日には2年ぶりに首都圏甲州市県人会の総会・懇親会を開催し交流を深めたところであります。

さて、国では先月19日、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針改訂と財政支出55.7兆円程度のコロナ克服・新時代開拓のための経済対策を決定し、新型コロナウイルス対策に充てる地方創生臨時交付金の増額を盛り込むなどコロナ禍で傷んだ社会経済活動の再開に舵を切ったところあります。

しかし、30日には新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の急拡大を受けた水際対策として、全世界を対象に外国人の新規入国を1か月間禁止している状況であります。

また、同日、「オミクロン株」の感染者が日本で初めて確認

されたとの報道発表もあったところであります。

本市としましては、国の動向や感染状況を注視しながら、随時最新の情報を得る中で、的確かつ迅速な対応を図ってまいります。

それでは主な施策・事業等の状況について申し上げます。

まず、ふるさと納税についてであります。

ふるさと納税寄附につきましては、毎年、本市を応援していただく全国の方から寄附金をいただいております。本市の貴重な財源となっております。本年も11月末日現在において、10万8千件を超える方から14億7千万円を上回る寄附金をいただいております。前年同期比2.6倍の寄附金額となっております。

今後も魅力ある返礼品を用意するなど、ふるさと納税の趣旨に合った健全な形でふるさと納税寄附の充実を図ってまいります。

次に、行政組織の見直しについてであります。

変化を続ける社会情勢の中にあつて、持続可能で各種市民ニーズに対応できる、より効率的な組織であるため、行政組織についても絶えず見直しを行い、各種変化に迅速に対応していく必要があります。そのため、令和2年度に見直しの基本方針を定めて庁内での協議を開始し、本年度は2室の先行設置を行ったところであり、来年度には組織全体を簡素化し、人的資源を

集約することで、市民ニーズと各種課題解決へ、組織一丸となり対応してまいります。

次に、庁舎市民ロビーへの ATM（現金自動受払機）の設置についてであります。

庁舎内への ATM の設置については、市民の皆様から多くの要望をいただいております、検討を進めてまいりました。

こうした中、山梨中央銀行と本市の間で、地域活性化に向けた連携協定を締結している関係で、この度、山梨中央銀行とセブン銀行の共同による設置が実現したものであります。

今月 1 日から利用を開始しておりますので、市民の皆様をはじめ、多くの皆様にご利用いただけるよう期待しています。

次に、市税等の収納についてであります。

現在、ペイジー口座振替受付サービスを市税等 4 税目で行っておりますが、来年 1 月から保険料、使用料等を新たに 10 項目追加し収納率の向上を図るとともに、利便性の高い行政サービスの向上と行政手続きの効率化を図ってまいります。

次に、甲州市パートナーシップ宣誓制度についてであります。

本市に暮らし活動する市民の方が、多様な性を認め合い、個人が尊重され、誰もがいきいきと自分らしく生きることができ、地域社会の実現を目指し、今月 1 日から、甲州市パートナーシップ宣誓制度を開始したところであります。

今後、様々な場面で、市民の皆様をはじめとして多くの方々に周知を図り、制度への理解を促進してまいります。

次に、健康づくりの推進についてであります。

先月、「健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」を全国健康保険協会山梨支部と締結したところであります。

相互に保有するデータの分析等の調査研究など、生活習慣病対策をはじめとした保健事業の効率的かつ効果的な実施が可能となり、医療費の適正化はもとより、市民の皆様の健康的な生活の実現や健康寿命の延伸に向けて取り組んでまいります。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種についてであります。

11月末までにすべての接種対象者の86.9%の方が接種を済ませており、現在、3回目の追加接種の接種体制を整え、順次進めているところであります。

次に、重層的支援体制整備事業についてであります。

現在、移行準備事業を実施しております重層的支援体制整備事業は、来年度から本格的な事業運営となるため、新たに福祉総合支援課を設けるとともに、社会福祉協議会とも更なる連携による業務が遂行できるよう協議を進めているところであります。

次に、農福連携の推進についてであります。

市民一人ひとりが障害のことを知り、障害の有無にかかわらず互いを尊重し合いながら共生する社会を実現する一環として、本年7月には、峡東地域内の9か所の障害者支援施設が「峡東地域農福連携推進協議会」を立ち上げたことから、本市としましても協議会と連携し各種事業を推進してまいります。

次に、橋梁施設の保全・管理についてであります。

市民が快適で安心した暮らしを継続するうえで、インフラの維持・保全是重要な課題であり、特に老朽化の進む橋梁施設については、予防保全型管理により計画的な修繕を行うことで、橋梁の長寿命化と、ライフサイクルコストの縮減を図っております。

本年度事業では、勝沼地区の穴田橋、塩山地区の新塩川橋の修繕工事を実施しており、安全で安心なインフラを、未来に残すため、点検と修繕を計画的に進めてまいります。

次に、勝沼ぶどう郷駅前展示機関車「EF64 - 18」塗替え事業についてであります。

ガバメントクラウドファンディングを活用して3か月の間、寄附を受け付けたところ、多くの皆様のご理解により目標額を超えるご寄附をいただくことが出来ました。

今後は、寄附者を対象とするイベントや甚六桜の開花時期に合わせたイベントなどで車両を活用してまいります。

次に、中学校の統合についてであります。

勝沼中学校と大和中学校の統合につきましては、大和小中学校保護者の皆様に対して、学校指定品購入補助等の説明会を行い、令和4年4月の統合に向け準備を進めております。

塩山地域につきましても、今月には保護者の皆様に対しての説明会、来年2月までに地域の皆様への説明会を行い、丁寧な説明をする中で、着実に進めてまいります。

次に、適応指導教室の設置についてであります。

コロナ禍の影響もあり、全国的に心理的理由等により不登校となっている児童生徒が増加傾向にある中、仲間とのふれあいと学習補充への援助を通し、再登校できる意欲を持たせるための適応指導教室の設置について、検討してまいりました。教室の性質や交通条件、また、運営の費用対効果や公共施設の利活用的一面からも検討した結果、大和ふるさと会館の空き会議室等を活用し、来年度4月に適応指導教室として開所してまいります。

次に、市営勝沼ぶどうの丘についてであります。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け昨年度は赤字決算であり、本年度も非常に厳しい経営を強いられている状況であります。

今後の経営について、様々な角度から検討を進める必要があると考えておりますが、まずは、一層の経費削減を進めるとともに、観光需要回復に向けた国の景気対策等に即応できるよう、

職員一丸となって取り組んでまいります。

次に、恩賜林記念館の閉館についてであります。

萩原山財産区が管理を行っている恩賜林記念館は昭和44年の建設以来、結婚式や物販、展示会等に幅広く利用されてまいりました。

しかし、近年は、貸館業務の利用者数が年々減少するとともに会館の老朽化も著しく、維持管理にかかる経費が嵩み、財産区の基金を取り崩して運営を行っている状況であります。

こうした状況から、財産区では、将来に向けての安定した運営を考え、今年度末で会館を閉館することに決定したところであります。

最後に、本議会に提案いたしました補正予算案の概要について、ご説明申し上げます。

一般会計補正予算は6億8,556万2千円増額し、補正後の額を196億3,849万1千円といたしました。

続いて、特別会計であります。

国民健康保険事業特別会計ほか2会計で2億4,612万5千円増額し、80億8,218万3千円といたしました。

また、企業会計につきましては、下水道事業会計において収益的収入及び支出を3,378万4千円増額しております。

これら補正予算案の他、本議会におきましてご審議等をお願い

いたします案件は、条例案9件、補正予算案6件、その他案件3件であります。よろしくご審議のうえ、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

以上、私の所信の一端と主な施策・事業等の概要を申し述べさせていただきました。

甲州市の更なる発展のため、引き続き全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いするものであります。